

麻生田大橋遺跡 第1 1次発掘調査

中間報告

——遺跡見学会の資料にかえて——

1. 遺跡の概要

麻生田大橋遺跡は、豊川の右岸の低位段丘上に立地する遺跡であり、豊川流域の縄文時代の遺跡の一つとして古くから知られていました。豊川市教育委員会では、この地域の区画整理事業に伴い昭和52年から継続して、この遺跡の発掘調査を行っていますが、その結果、縄文時代以外にも古墳時代や平安時代・中世の遺跡であることが判明しました。つまり、この麻生田大橋では、縄文時代だけではなく、いろいろな時代に人々が暮らしていたわけです。このような遺跡を考古学では複合遺跡と呼びます。

2. 今までの調査の概要

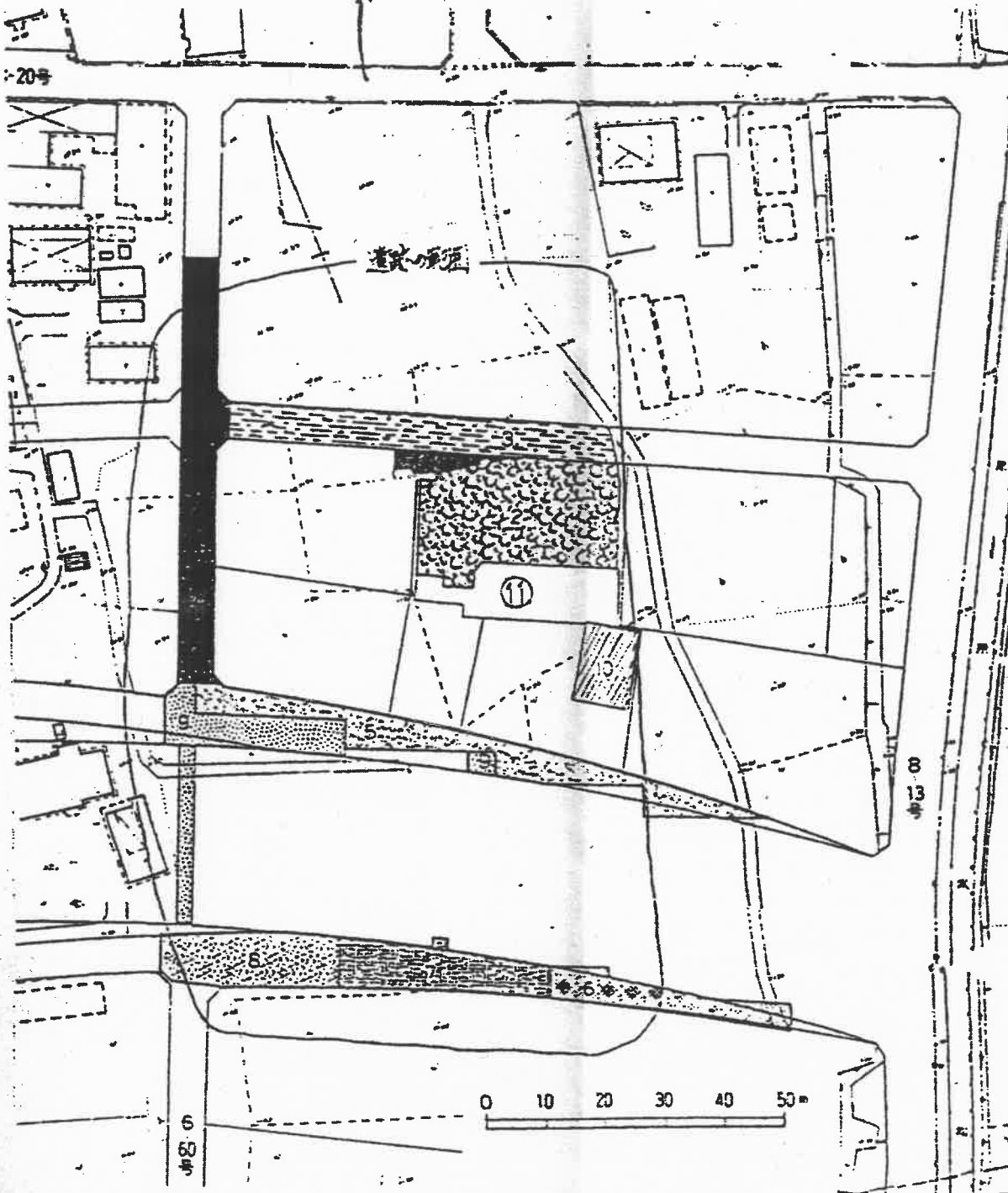
昭和52年から毎年行われている調査で、ほぼ遺跡全体の3分の1程の面積を発掘したわけですが、今までに縄文時代の遺構（生活の跡）としては、土器棺（乳幼児が死んだ時、土器に入れて葬った跡）80基や土塹・溝などが発見されています。これとともに、多量の土器や石器・土偶なども出土しており、当時の生活の様子が少しずつわかってきています。

また、平安時代の竪穴住居跡や掘立柱建物跡などの家の跡が発見されている。その他、中世（鎌倉～室町時代）の井戸や溝・土塹墓なども発

見されています。

ただ、残念ながら縄文時代の住居の跡は、今までの発掘調査では一軒も発見されていません。麻生田大橋遺跡の最大の謎です。

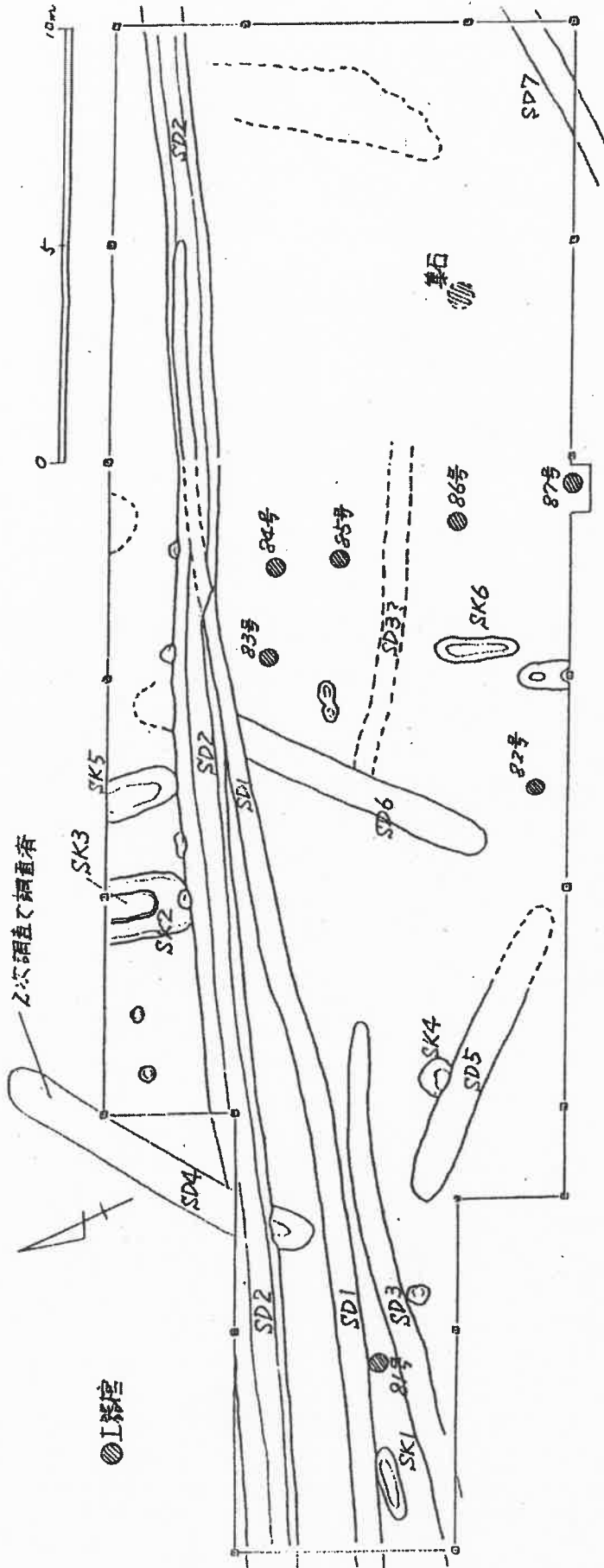
※ この遺跡の北側は、^{とうかいず}麻生田当貝津遺跡と言います。（縄文時代）



〈遺跡の範囲と発掘調査場所〉数字は調査次数を表します。

※ 図の真ん中（11）のところが今回の調査場所です。

※ 新しい道路の下は既に発掘済みです。



3. 第11次発掘調査の概要

計87基

- 今回の調査では、今までに土器棺が7基確認されています。
- 中世の土塚墓SK3からは、政和通宝他5枚の古銭が出土しています。政和通宝は北宋銭（初鑄1111年）で、鎌倉時代に日本に輸入され、墓に供えられたものと考えられます。
- 溝SD4、SD5、SD6はコの字形を示し、弥生時代の方形周溝墓というものに形が似ていますが、まだ掘り下げの途中のため、時期や遺構の性格は不明です。
- 縄文時代の生活面（地表）は、現在の地表面とあまり変わらないと推定されます。←土器棺は土に埋められたはずだから！

と
土器棺

No.	土器棺	合わせ	使用土器
81	単号棺	単棺	深鉢
82	単棺	単棺	深鉢
83	単棺	単棺	深鉢
84	単棺	単棺?	深鉢?
85	単棺	単棺	深鉢
86	単棺	単棺	深鉢
87	単棺	単棺	深鉢

溝 (SDで表示)

溝 (SDで表示)	世
SD1	中世
SD2	中世
SD3	平安時代
土塚	(SKで表示)
SK1	縄文晩期 (土塚墓か?)
SK2	中世
SK3	中世 (土塚墓)
SK4	中世
SK5	時期不明
SK6	縄文晩期?

4. 麻生田の縄文人のくらし

(1) 大切に葬られた子供

採集・狩猟活動に頼っていた縄文時代の生活は厳しく、平均年齢が非常に低かったことが下表でわかると思います。当然、乳幼児の死亡率は高く、死んだ子供は日常使用していた土器の中に入れて大切に葬られました。その骨はほとんど土にかえりますが、土器棺の中に、まれに小指の先ほどの骨片が残っていることがあります。

15歳以上の平均死亡年齢の時代的変遷

	男性		女性	
	(例数)	平均年齢	(例数)	平均年齢
古人骨推定				
縄文時代	(139)	31.1	(102)	31.3
弥生時代	(8)	30.0	(3)	29.2
古墳時代	(21)	30.6	(5)	34.5
室町時代	(12)	35.8	(9)	36.7
江戸時代	(116)	43.9	(50)	40.6
人口統計				
1891~1898		55.7		57.1
1965~1966		70.3		75.0

(2) 石の道具 “石器”

大橋遺跡では、日常使われた様々の石の道具が発見されています。中でも多いのが、打製・磨製の石斧及び石鏃（矢じり）です。

◎石鏃



※矢の先に
つける。

◎磨製石斧



※木を切り倒し
たりする。

◎打製石斧



※土を掘り
たりする。

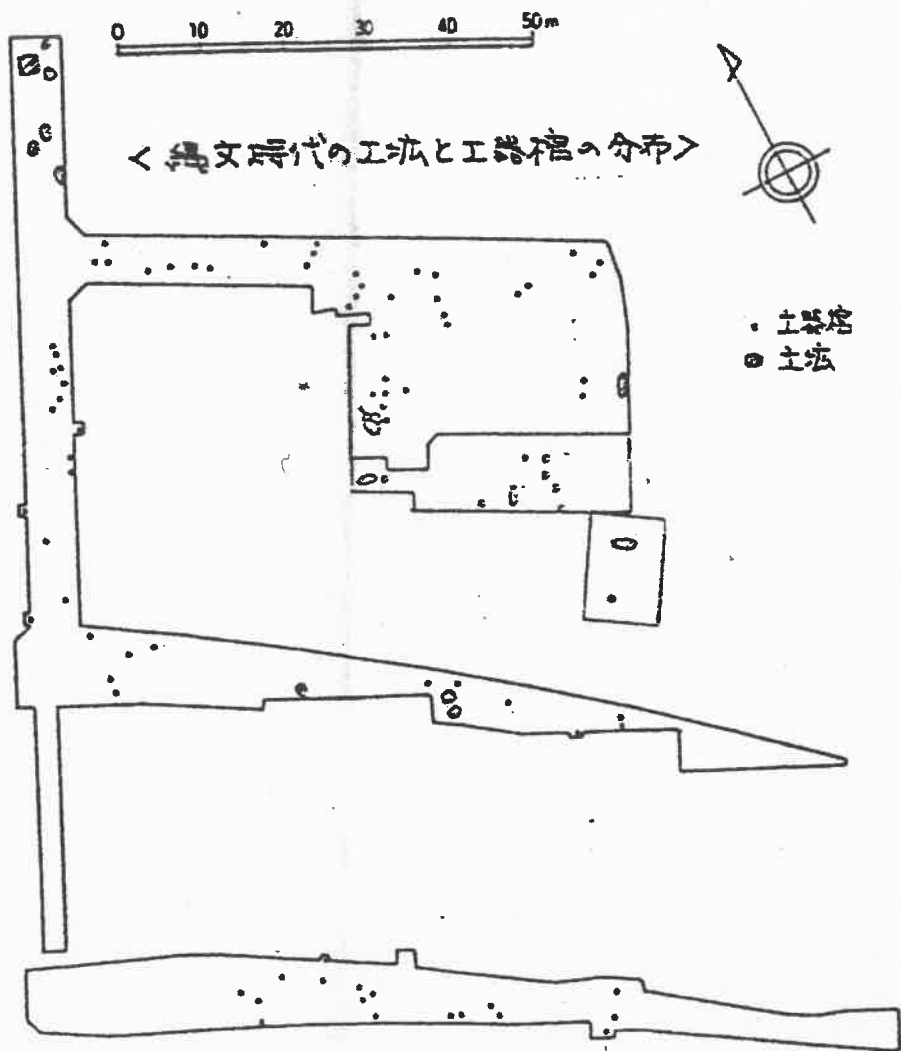
5. 縄文時代から弥生時代へ

麻生田大橋遺跡は縄文時代晩期の後葉から終末にかけての縄文時代末期（今から約二千数百年前）の遺跡です。この頃、九州から西日本にかけては徐々に米作りを始めて弥生時代が始まるわけですが、麻生田大橋遺跡では今のところ米作りを実証するような遺構や遺物は発見されてい

ません。石器からみても、採集・狩猟生活をしていたと考えられます。
 ただし、水神平式（すいじんびらき）と呼ばれる土器には、大型の壺がみられ（例えば第87号棺）、土器から見れば弥生時代だといえます。このように麻生田大橋遺跡、縄文～弥生への過渡期の遺跡として注目されます。

〈縄文時代の土壌と土器棺の分布〉

土壌が2ヶ所に集中しているのがわかるとおもいます。
 住居跡はどこにあるでしょう？



この他にも、^{岩鏡}石鏡（キリ）や、^{石皿}石皿・すり石・くぼみ石・たたき石・^{石棒}石棒・^{石刀}石刀などがあります。

† 発掘調査は6月下旬まで行う予定です。今後新たに発見があるかもしれないので、また見学に来て下さい。
 なおね現在豊川地域広場において、特別展「豊川の遺跡」を開催中です。麻生田大橋遺跡の遺物も展示してありますので是非お立ち寄り下さい。